



## 電子顕微鏡を遠隔操作

玉野高で特別授業 社会への活用学ぶ

玉野高は26日、検査ラズ36人が参加。同社と説明。「見えないも機器などを手掛ける日のCSR（企業の社会の見えると仕組み立ハイテク（東京）と（的責任）本部の寺田大が分かり、新しい技術オンラインで結んだ特平・担当部長代理が「スガ生まれる」とし、ハ別授業を行った。電子クリーンを通じて授業スの葉が水をはじく顕微鏡の操作を遠隔でを進めた。

体験し、ミクロの世界 肉眼は髪の毛の太さトのふた、寒さに強いから発見した新しいに当たる0.1ミ程度 ホッキョクグマの毛の技術が社会にどう活用までしか見分けられ構造を生かした衣服されているかを学んだ。 数百倍、電子顕微鏡は まれた技術を紹介した。 2年生の理系選択ク 10万倍に拡大できるた。

日立ハイテクにあるソコンで遠隔操作する話した。電子顕微鏡を生徒がパ 体験もあり、光学顕微鏡では判別 特別授業は、同社が不能な半導 取り組む理科教育支援活動の一環で、20体チップの 14年度から毎年2断線を確認 力月間、玉野高に電子した。伊藤 顕微鏡を無償貸与し大悟さん ている縁で実現した。(17)は「難 21年度は4〜5月に貸しいイメー 与された。



スクリーンに映し出された電子顕微鏡の画像。光学顕微鏡では見えない半導体チップの断線が分かる

(内田貴大)